

学校教育目標

未来に向かって心豊かにたくましく生きるために

- 1 自らの生き方を創りだし、より広く・より深く考え、課題解決に向けて粘り強く取り組む力をつけます。(知・開)
- 2 互いの違いを認め合い、思いやりの心を持ち、自他の生命と人権を大切にします。(徳・体)
- 3 あいさつを大切にし、社会への視野を広げ、地域や社会に貢献できるようにします。(公・開)

学校概要

創立	73	周年	学校長	石渡 元	副校長	生田 秀一	2	学期制	一般学級: 15	個別支援学級: 2
児童生徒数:	558	人	主な関係校:	大正中学校・大正小学校・小雀小学校・東俣野小学校・千秀小学校						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力
<学びに向かう力>
<主体的な学び>
<人とのかかわり>

大正中 ブロック
大正中学校 大正小学校 小雀小学校 東俣野小学校

小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>学習に向かう姿勢を身につけ、粘り強く学ぶ子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的でより深い学び」を目指した合同授業研究・協議会(年2回) ・小中合同職員研修会の開催(年1回)小中一貫教育推進会議(年4回)相互評価の会(年4回)専任、特別支援コーディネーターによる情報交換、協議会(年4回) ・児童生徒ブロック会議を開催し、児童会と生徒会の交流を行うとともに、合同の「スマイルプロジェクト」の推進、中学生による小学校訪問、児童生徒交流日での部活動体験

中期取組目標

- ①より良い学習習慣を身に付け、魅力ある分かりやすい授業、主体的な課題解決学習を通して、学力向上を目指します。
- ②特別支援教育の視点を含めた生徒理解を基に、授業改善と生活支援・学習支援を行います。
- ③社会性の育成を図り、生徒の自己有用感、自己存在感を高めると共に、自治活動を推進します。
- ④地域の教育力を生かすと共に、交流やボランティア活動を通して、地域や社会に貢献できる生徒を育成します。
 - ・大中学生の心を育てる事業を中心に、生徒や保護者・地域が誇りを持てる学校を創ります。
 - ・互いに啓発、連携し、生徒や保護者・地域から信頼される活気ある職員集団を目指します。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学習指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のスタンダードを徹底し魅力ある授業を展開して、生徒に学習に向かう姿勢を身につけさせる。 ・新学習指導要領を研究し、教科横断的なカリキュラムマネジメントの作成に取り組む。 ・小中合同の授業研究を推進し、共通の指導観を確立し、学びの連続性を高める。
豊かな心 担当 人権・道徳・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳授業の研究」を推進する。 ・スマイルプロジェクトを中心に、生徒自ら、いじめのない学校、明るい学校づくりを進める。 ・「大中学生の心を育てる活動」を継続させると共に、地域との交流やボランティア活動を活発化させる。
健やかな体 担当 保健体育科・保健安全指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命と人権を思いやり、これらを含めた視点で保健教育の系統化を進め、実践する。 ・健康に関する啓発活動、校内美化活動、さわやか運動を通して、生徒の健康や美化意識を高める。 ・1校1実践運動を推進していく。
生徒理解・支援 担当 生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や小学校、家庭との連携を深め、情報を共有し生徒の特性を理解した支援を行う。 ・相談活動を充実させ、保護者・生徒に寄り添い、生徒の人間関係づくりを支援する。 ・あいさつ運動、見守り活動を通じて生徒と地域の方々との面識を深める。
特別支援教育 担当 特別支援教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒実態調査の活用、個別の支援計画の作成等を通して、生活支援と学習支援を行う。 ・ステージ1の通常授業でユニバーサルデザイン化、焦点化を推進する。ステージ2のTT授業などの支援方法を改善する。ステージ3の学習支援教室の効果的な運営を行う。
特別活動 担当 特別活動指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・本部活動、中央評議会でPDCAによる自治活動を推進する。 ・生徒を中心とした行事などの企画運営により、生徒の自主性を育成する。 ・社会性の育成プログラムを含めた、3年間を見通した計画的な学級活動の実践。 ・周囲から承認される学級委員や班長による自治活動を推進し、朝・帰りの学活を充実させる。
地域連携 担当 生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・大中学生の心を育てる活動を継続させ、地域・関係機関と生徒、保護者、職員の連携をより密なものとする。 ・地域活動への参加や地域ボランティアを推進し、生徒の自己有用感、自己存在感を得る活動の数的、質的に向上させる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化、人権教育の推進のための講演会、保健安全の特別学習などを学校教育全般の活動を通し、命の大切さやいじめ防止の意識を高める。 ・学級活動等で社会性の育成演習を実践し、生徒の社会性を高める。 ・スマイルプロジェクトやグリーンリボン活動を通じて、生徒の自主的ないじめ防止の取組を推進する。 ・生徒の特性を把握し、個別の支援計画を利用し共通認識を深め、生活・学習支援を行う。 ・教育相談や実態調査を実施すると共に、人間関係のトラブルについて継続的に指導を行う。 ・部長会を発展させるなどよりより部活動の生徒集団を育成する。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者を積極的に活用し、研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師の力の向上を目指す。併せて、ファシリテーション手法を用いるなど研修内容を改善する。 ・中堅、ベテラン職員が若手職員を育成する方法でメンターチーム事業をさらに充実させる。 ・働き方改革の視点から、業務内容を見直し、会議を精選する。